2026.10.18

○越高遺跡史跡指定記念「縄文時代の対馬社会」

本日（18 日付け）の朝日新聞長崎版にも掲載された企画展です。著作権の関係から紙面は UP できませんが、尾上博一副館長の「展示を通じ、最新の縄文時代像を知ってほしい。祖先がどのように暮らし、対馬がどのような場所だったのかを知ることで遺跡の保全にも関心を持ってもらえる機会にしたい」とのコメントが掲載されています。詳しくは下記 URL から同博物館の web サイトをご覧ください。

縄文時代の対馬社会 | 対馬博物館

なお、１０月２４日（土）には同志社大学の水ノ江和同先生と長崎県教育庁学芸文化課の中尾篤志氏の講演ならびに尾上副館長による展示解説が予定されております。演題や時間は上記 web サイトでご確認ください。

○第 46 回日本貿易陶磁研究会研究集会「対馬と貿易陶磁―高麗・朝鮮陶磁をめぐって―」

１１月２８日（土）、２９日（日）にかけて立教大学で開催されます。開催趣旨によると「古くから対馬は、韓半島から日本列島に文物がもたらされる窓口ともなってきた。そのため中世から近世にかけて数多くの高麗・朝鮮陶磁が出土している。このたびの研究集会では、生産地における最新の研究にもとづき、中世から近世までの対馬出土の陶磁器について概観し、その意義を問う。」とあります。対馬の貿易陶磁の最新研究成果が披歴されそうですね。本県からは県埋文センターの益田さんと対馬博物館の尾上副館長が発表されます。詳しくは下記の日本貿易陶磁研究会の web サイトをご覧ください。

日本貿易陶磁研究会

○特別展「卑弥呼の鏡―三角縁神獣鏡がヤマト王権をつくった―」

九州国立博物館で１０月３１日（土）から開催されます。詳しくは下記 URL から九国博の web サイトをご覧ください。

九州国立博物館 - 特別展「卑弥呼の鏡 ―三角縁神獣鏡がヤマト王権をつくった―」